

|      |                   |        |                                                          |      |      |
|------|-------------------|--------|----------------------------------------------------------|------|------|
| 科目名  | 日本語教育のための「言語と心理」Ⅱ |        |                                                          |      |      |
| 英語科目 |                   | ナンバリング | (https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照 |      |      |
| 開講期  | 秋学期               | 開講学部等  | 外国語学部                                                    | 配当年次 | 2 年次 |
| 教員名  | 奥野 紗衣             |        |                                                          | 単位数  | 2 単位 |

#### 授業概要／Course outline

この授業では、主に「異文化理解と心理」「異文化間教育」「対人コミュニケーション」に対する理解を深め、さらに言語知識を教育へと応用する力を身につけます。また、21世紀を生きる上で必要とされる論理的思考力および自らを相対化して客観的に物事を分析する力を養います。

#### 授業形態、授業方法等／Course form・type

##### 【授業形態】

対面授業

##### 【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク）

授業内で行う課題やワークについて、グループで確認したり検討したりします。

また、受講生の考えや意見を求めることがあります。

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

90分のオンデマンド授業と課題があります。

- ・その他

自己省察シートを通して、教員・学生間の対話を行います。

#### 授業内容・授業計画／Course description・plan

##### 1. オリエンテーション、第9章 異文化理解と心理①

講義の概要および注意事項について説明を行う。日本語教師に必要な異文化理解について考える。

##### 2. 第9章 異文化理解と心理②

異文化適応と文化化について学ぶ。

##### 3. 第9章 異文化理解と心理③

コミュニケーションにおける文化的差異について考える。

##### 4. 第9章 異文化理解と心理④

言語学習、言語教育と学習館について考える。

☆オンデマンド（約45分）：詳細は第4回授業で説明する。

- ・グループワークの準備
- ・自己省察シートの提出

##### 5. グループワーク①

異文化理解に関するワークに取り組む。

※「学生・教員間の対話」を行います。

##### 6. 第11章 異文化間教育①

異文化間接触により何が起こるのかを考える。

##### 7. 第11章 異文化間教育②

多文化社会時代に向けた異文化間教育（国際理解教育）について考える。

☆オンデマンド（約45分）：詳細は第7回授業で説明する。

- ・グループワークの準備
- ・自己省察コメントの提出

##### 8. グループワーク②

異文化理解に関するワークに取り組む。

##### 9. 第12章 日本語教育におけるコミュニケーション教育

異文化理解を深めるための双方向的な学びについて考える。

10. 第14章 言語の構造一般①

世界の諸言語の類型および言語学・日本語学の基礎知識について学ぶ。

11. 第14章 言語の構造一般②

対照言語学の研究手法と日本語教育におけるその意義について学ぶ。

12. 第14章 言語の構造一般③

言語研究を教育現場に生かすために必要なことについて考える。

13. まとめと復習

これまでの授業を振り返り要点整理と補足説明を行う。

14. 期末試験および振り返り

第1～13回までの内容について、試験を実施する。試験実施後は再度要点の確認とまとめを行う。

※「学習成果実感調査」を行います。

事前・事後学修／Preparation and assignments

※各授業に対する事前事後学修は約180分を目安とし合計で2700分程度とする。

1. オリエンテーション／異文化理解と心理①

[事前学習] シラバスを読み、授業の概要を理解する

[事後学習] 授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

2. 異文化理解と心理②

[事前学習] 異文化への適応について見聞きしたことがあることをまとめる

[事後学習] 授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

3. 異文化理解と心理③

[事前学習] 文化の違いにより起こり得るコミュニケーションのすれ違いについて、予想できることをまとめる

[事後学習] 授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

4. 異文化理解と心理④

[事前学習] 自分自身の「学習観」としてどのようなものを持っているか内省し、まとめる

[事後学習] 授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

☆オンデマンド（約45分）

[事前学習] 異文化理解と心理について、再度自分なりに考える

[事後学習] 授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

5. グループワーク①

[事前学習] 第2～4回の内容を再確認する

[事後学習] 授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

6. 異文化間教育①

[事前学習] 異文化間接触によってどのようなことが起こるか、自分なりに考えてまとめる

[事後学習] 授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

7. 異文化間教育②

[事前学習] 多文化共生のために必要な教育について、アイディアを列挙する

[事後学習] 授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

☆オンデマンド（約45分）

[事前学習] 異文化間教育について、再度自分なりに考える

[事後学習] 授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

8. グループワーク②

[事前学習] 第6～7回の内容を再確認する

[事後学習] 授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

9. 日本語教育におけるコミュニケーション教育

[事前学習]異文化理解、多文化共生のために教育で行いungことのアイディアを列挙する

[事後学習]授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

10. 言語の構造一般①

[事前学習]これまで学んだことのある言語と日本語の言語的な相違点を考え、まとめる

[事後学習]授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

11. 言語の構造一般②

[事前学習]外国語学習において、理解しにくい、訳しにくいものを挙げ、その理由を検討する

[事後学習]授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

12. 言語の構造一般③

[事前学習]第10,11回の内容を元に、言語教育に取り入れるべき知見を列挙する

[事後学習]授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

13. まとめと総復習

[事前学習]第12回までの授業内容を復習し、不明点・疑問点をまとめる

[事後学習]授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

14. 期末試験とふり返り

[事前学習] 第13回までの授業内容の復習

[事後学習]授業で学んだ内容を整理・復習し、不明点・疑問点を明確にする

授業の到達目標/Expected outcome

- ・現在の世界における文脈の中で外国人学習者に日本語を教えるということがどういう意義を持つのか理解を深め、日本語（言語）と心理との関係性について説明することができる。
- ・普段は気づくことのなかった（自分が当たり前に感じていた）言語現象に注目し、それを分析・考察した上で論理的な記述を行うことができる。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・ 思考力
- ・ 専門知識・専門技能
- 【外国語学部 アジア言語学科】
- ・ 言語知識
- ・ 異文化理解

履修上の注意/Special notes, cautions

- ・ かならず事前学習と事後学習を行い、授業に来てください。（事前学習と事後学習の内容を使い、授業を行います。）
- ・ 無断欠席が全体の1/3を超えた場合、成績評価を行いません。
- ・ 初回授業で講義の概要（注意事項等含む）について説明します。履修予定者は必ず出席してください。
- ・ この授業では、単に講義を聞いて知識を身に付けるだけでなく、授業で学んだことを受講者自身の経験や身近な状況に引き付けて考えることが求められます。
- ・ 受講者の理解度に応じて、授業計画を調整する場合があります。

評価方法/Evaluation

期末試験（20%）  
毎授業の自己省察シート（45%：5%×9回）  
授業内のグループワーク課題（20%：2回）  
オンデマンド授業の課題（15%：2回）

教材/Text and materials

佐々木泰子（編）（2007）『ベーシック日本語教育』ひつじ書房。  
※その他の参考書については、授業の中で提示します。

質問や相談の方法/Instructor contact

質問や相談は、授業後もしくはメールで受け付けます。  
sae.okuno@cc.kyoto-su.ac.jp